

# NEWSLETTER

# No.81

# 23 May 2022

・教員の研究室と電話番号・メールアドレス	・・・・・・・・・・	1
・活躍する卒業生 (11)	・・・・・・・・・・	2
・地理学教室が発信する各種情報のQRコード	・・・・・・・・・・	5
・2022年度教員在室時間表	・・・・・・・・・・	6

## 【教員の研究室と電話番号・メールアドレス】

※地理・環境コースの専任教員は全員が世田谷キャンパス(世田谷・梅ヶ丘校舎)にいます

	研究室の場所	研究室電話番号	電子メールアドレス
長谷川	世田谷校舎 10 号館 2F1003 研究室	03-5481-5247	hasegawa@kokushikan.ac.jp
岡 島	世田谷校舎 10 号館 2F1002 研究室	03-5481-3245	okajima@kokushikan.ac.jp
佐々木	世田谷校舎 10 号館 2F1004 研究室	03-5481-3246	akihikos@kokushikan.ac.jp
桐 越	世田谷校舎 10 号館 2F1001 研究室	03-5481-5278	kirikoshi@kokushikan.ac.jp
内 田	世田谷校舎 10 号館 4F1025 研究室	03-5481-5291	uchida@kokushikan.ac.jp
磯 谷	梅ヶ丘校舎 34 号館 8F 824 研究室	03-5451-8154	isogai@kokushikan.ac.jp
加 藤	梅ヶ丘校舎 34 号館 9F 904 研究室	03-5451-8164	k2kato@kokushikan.ac.jp

※教員が大学に在学予定の時間等は、6ページの教員在室時間表を参照してください。オフィスアワーは、基本的に先生が研究室にて、学生の質問等に答える時間です。

※オフィスアワー以外の面会・相談なども在室中に短い時間で済む用事であれば、大抵の先生は急用がない限りは応えてくれます。ただし、基本的には相談や面接等は、事前にアポイントメント (Appointment ; アポ) をとってからするようにしてください。オフィスアワーであっても、出張等で不在の場合や、他の相談者などがいるため時間が割けない場合もありますので、事前にアポを取る方がお互いに好都合です。大学生としての自覚をもった行動を心掛けましょう。

※したがって、教員の自宅、特に非常勤講師の先生宅への電話は、先生からの指示がない限りは控えてください。

※メールを活用しましょう。多くの先生が電話よりもメールでのアポの方が好都合です。ただし、教員のメールアドレスは携帯電話のものではありませんので、すぐ返信がくるとは限りません。余裕をもった連絡を心掛けてください。アポの際には、メールの標題に、学籍番号・氏名を明記してください。先生によっては、標題に番号・名前がないとメールを消してしまう場合があります (迷惑メール・ウィルスメール対策のため)。用件が必ずしも標題になくても大丈夫です。「こんにちは」といった標題のメールは即刻消される場合があるので注意してください。

## 【活躍する卒業生(11)】

シリーズ「活躍する卒業生」の第11回目です。今回は、2017年度に本学の地理・環境専攻（当時）を卒業された岡田真次さんです。岡田さんは、本学を卒業された後、(株)パスコの職員を経て現在は環境省の自然保護官として活躍されています。ゴールデンウィークを挟むお忙しい時期でしたが、原稿を作成していただくことができました。

--\*-\*-\*-\*-\*--\*-\*-\*-\*-\*--\*-\*-\*-\*-\*--\*-\*-\*-\*-\*--\*-\*-\*-\*-\*--\*-\*-\*--

## 国立公園レンジャーとしての仕事

岡田 真次 （環境省 自然保護官）

皆さん、こんにちは。私は2018年3月に国土館大学文学部史学地理学科地理・環境専攻（磯谷ゼミ）を卒業後、民間測量会社に就職し、2020年1月に転職して現在、環境省の国立公園レンジャー（自然保護官）として働いております。今回は、簡単に経歴や現在の仕事などをご紹介します。多少なりとも皆様の参考になれば幸いです。

### 【業務経歴】

- 2018年4月～2019年12月 株式会社パスコ 中四国事業部（広島）
- 2020年1月～2021年4月 環境省 信越自然環境事務所 自然環境整備課
- 2021年5月～2022年3月 環境省 信越自然環境事務所 国立公園課
- 2022年4月～現在 環境省 東北地方環境事務所 大船渡自然保護官事務所

在学時は磯谷ゼミで植生地理学を主に勉強しており、磯谷先生がご担当されている3年生からの「日本の植生環境」や「地域の生態環境」などで、日本の植生の基本的なことを学び（植生や自然に興味がある人はぜひとった方がよいと思います）、卒論ではブナ林に関する研究を行っていました。卒業後、株式会社パスコに入社し、自治体向けにGISで上下水道台帳を管理する業務を担当し、GISでのデータ更新や現場で水準測量などを行っていました。基本的に、データ入力や現場作業であるため、在学時に学んだGISや測量などの勉強が役に立ちました。

社会人2年目の途中に国家公務員一般職の試験を受け、環境省自然系職員（レンジャー）として採用されました。レンジャー（自然保護官）という仕事をご存じない方も多いと思いますので簡単に説明しますと、日本では国を代表する自然の風景地を国立公園として指定し、その自然の風景地を保護するために木の伐採や植物の採取、建築物の設置などを制限し、自然の風景地を守っています。代表的な例で言いますと、上高地や日光、知床などなど・・・全国で北は北海道から南は沖縄まで34の国立公園があります。日本の国立公園は、知床のような原生的な自然から、古くから自然の中に人が暮らして形成された文化景観などの歴史や文化にも触れることができるのが特徴です。この自然の風景地を保護するために各国立公園にはレンジャーという環境省の職員が配属され、現地で規制に対する手続きや、利用促進に関する業務を行っています。レンジャーの仕事は、国立公園の自然の保護（規制行為の手続き）や、自然公園内の整備業務、外来種対策や、希少種の保護など多岐にわたり、末端の現地事務所や地方の拠点事務所、霞が関の本省などで仕事の内容は大きく変わりますが、ここでは私が経験した業務について少しご紹介させていただきます。

1年目の赴任地は、長野県長野市にある信越自然環境事務所という地方の拠点事務所で、管轄の国立公園（妙高戸隠国立公園、上信越高原国立公園、中部山岳国立公園）の整備に関する業務を担当していました。国立公園の整備には、登山道の工事やトイレ、キャンプ場など様々なものがありますが、私が担当したのは広場の整備工事、登山道の工事などです。実際の仕事内容は、業者が作成した図面や積算をチェックし、工事を発注するところから始まり、工事業者との調整、他法令の申請（道路の占用許可や保安林の伐採許可など）、工事の進捗確認などです。下に担当した工事の概要を記載します。

**【工事1：上信越高原国立公園 長野県下高井郡山ノ内町 志賀高原 蓮池園地】**

志賀高原の玄関口である蓮池という場所で、ホテルの跡地を芝生広場にしました。芝生広場にしたことで景観上も良くなり、志賀高原の玄関口の雰囲気も良くなり結果として志賀高原のイメージアップにもつながりました。また整備後、利用者の方が増えています。



工事前



工事後

**【工事2：上信越高原国立公園 長野県小諸市 黒班山登山道】**

既存の木階段が凍上現象で浮き上がってしまい、利用者の方から苦情が多く寄せられていました。そこで、既存の木の杭を鉄ピンに変え凍上現象の対策工事を行いました。工事現場は浅間山の近くで、浅間山（前掛山）の標識設置も行う予定でしたが、気象庁の噴火警戒レベルが上がり頂上付近に立ち入れなくなり、中止となってしまいました。



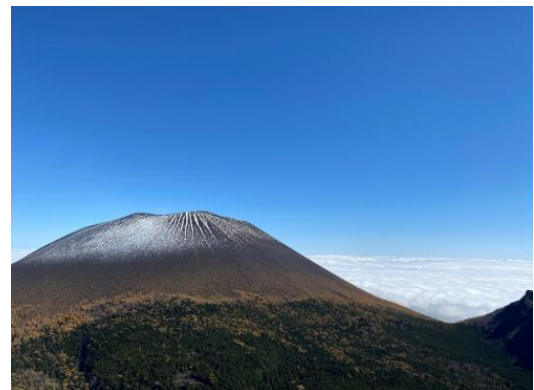
工事前



工事後



噴火警戒レベルが下がり設置した標識



10月中旬 雪を少しかぶった浅間山

登山道の工事などは現場まで何時間もかかる場合があるので大変ですが（今回の黒班山は片道1時間半程度）、山好きの方には嬉しい仕事かと思えます。また、そもそも国立公園内の工事は地元のボランティアや山小屋、自治体など様々な団体が行うものであり（登山道に関していえば管理者が不在の道が多く、問題となっているのが現状です）、環境省で実施する事業はほんの一部になります。実際にその場所で工事をする計画が決まるのは、協議会や地元からの要望がある場合など様々であり、地元関係機関との調整があった上で計画が決まっていきます（さらに予算が実際につくかはわかりませんが）。多くの調整があった上で工事が実施されますが、完成後に利用者の方から「使いやすくなった」の声を聞いたり、実際に利用者の方が増えたりすると、嬉しく思います。



2年目には課が異動となり国立公園の各種制限行為の手續きに関する業務を行い、3年目に、現在の三陸復興国立公園の大船渡自然保護官事務所に異動となりました。現地事務所はレンジャー1人と補佐の方1名という体制で、管轄範囲を見ることとなります（範囲は宮城県の気仙沼市から岩手県の大槌町まで）。三陸復興国立公園はイメージがつかない方もいると思いますが、リアス式海岸や海成段丘の風景が美しく、海岸部の特徴的な地形を国立公園として指定している場所です（震災後に範囲を拡張して名称も変わりました）。主な業務としては、国立公園内の許認可相談、環境省直轄施設の維持管理、また三陸復興国立公園では、環境省の震災復興の事業として「みちのく潮風トレイル」という福島県相馬市から青森県八戸市までをつなぐ1000kmのロングトレイルを設定しており、そのルート管理なども行っています。



三陸復興国立公園 千畳敷（釜石市）公園内巡視



みちのく潮風トレイル 標識確認・テープ設置

業務の内容を少し細かく説明すると、許認可相談では一般の方や業者、自治体からここに建物を立てたい、この植物を採取したいなど相談がきて、実際に行きたい内容を資料等でもらい、現地に行き景観の妨げにならないか、貴重な動植物がないか、植物を採取する場合地域での個体群に影響がないかなどを確認し、審査基準に基づき高さや色、様々な要件を調整していきます。また施設の維持管理では、大船渡では環境省が整備した碁石海岸インフォメーションセンターや野営場があるので、維持管理を委託している団体とこまめに連絡をとり施設に異常がある場合は、業者さんに依頼して修繕などを行います。三陸復興国立公園のメインとなる業務のロングトレイルでは、巡視などを行い道に異常がないか、標識等の確認を行い、例えば工事などがあれば通行止めなどの措置などを行います。

また、利用促進に関する業務も重要で、ロングトレイルに関していえば、野営できる場所がなく問題となっており、地元の関係者と野営できる土地がないか相談するほか、協力をお願いする場合があります。その他、国立公園内をどう利用させていくか考えることも重要であり、例えば事務所があるのは碁石海岸という国の名勝天然記念物に指定されており、古くから有名な地でアカマツ林と海食崖など風景が美しいところですが、観光客の滞在時間が短いことが問題となっており、観光客の滞在時間を長くし、大船渡の観光促進などにつなげることも考えていく必要があります。このような仕事は1人ではできないので、地元の関係者と話しあうことが大切ですが、自分もまだまだできておりません。

レンジャーの仕事は自然の保護から地域振興まで幅広く、つらいこともあります。何かできることを探すことが必要だと思っています。堅苦しく書きましたが、レンジャーの仕事は2〜3年で全国を転動していき素晴らしい風景地で仕事ができることが醍醐味ですので、自然好きな方には向いている仕事だと思います！

もし興味を持たれた方がいたら、下の環境省のHPで過去の受験者の内定までの道のりなど資料でまとめられていますので、ご覧いただければと思います（自然系の勉強をしていない方でも、採用実績はあります！）。また、何か聞きたいことがあればお答えしますので、先生など通じてご連絡いただければと思います（試験勉強方法なども）。

環境省 HP「過去の内定者の記録」 [http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat\\_ra3/post.html](http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra3/post.html)

## 【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

地理学教室ではニューズレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード



フェイスブックのQRコード



インスタのQRコード

【2022年度 教員在室時間表】

曜日	時限 時間	1	2	昼休み	3	4	5	6
		9:00-10:30	10:45-12:15		12:55-14:25	14:40-16:10	16:25-17:55	18:10-19:40
月	長谷川				春のみ			
	岡島							
	磯谷				春のみ			
	加藤							
	佐々木							
	桐越				秋のみ			
火	長谷川				会議	会議	会議	
	内田						春のみ	
	岡島							
	磯谷						春のみ	
	加藤							
	佐々木					春のみ		
水	長谷川				会議	会議	会議	
	岡島							
	磯谷							
	加藤							
	佐々木						秋のみ	
	桐越							
木	長谷川							
	内田	春のみ						
	磯谷							
	加藤							
	佐々木				春のみ			
	桐越							
金	長谷川							
	内田							
	岡島							
	磯谷							
	加藤							
	佐々木							
土	内田							
凡例								
		授業	オフィスアワー		在室している場合が多い			その他

※春のみ：春期のみ講義。 ※秋のみ：秋期のみ講義。  
 ※金曜日は文学部関係の会議が集中する日です。会議のある先生は大学にいますが、ほとんど会えない場合もありますので、注意してください。第3または第4金曜日には**教室会議（12：00～）**・**教授会（13：30～）**があり、教員全員が会議に出るので、その日の午後はほぼ会うことができません。教授会の日程は年間予定表を参照してください。  
 ※加藤先生：水曜日は秋期のみ午前中他大学で授業あり（春期は2限から在室の場合が多い）です。